

**令和2年度第1回寝屋川市地域福祉計画
推進委員会 会議要旨**

会議の名称	令和2年度第1回寝屋川市地域福祉計画推進委員会
開催日時	令和2年8月19日(水) 午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	市立保健福祉センター5階 多目的ホール
出席委員	岡田委員長、伊与田副委員長、中島委員、松谷委員、林堂委員、岸川委員、安藤委員、三和委員、園田委員、大西委員、朽見委員、郡委員、辻岡委員
欠席委員	森田委員
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 寝屋川市地域福祉計画推進委員会委員長の互選について 2 第四次寝屋川市地域福祉計画の策定について 3 地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査等の結果について 4 第三次寝屋川市地域福祉計画の柱ごとの現状・課題のまとめについて 5 第四次寝屋川市地域福祉計画 施策体系案について 6 その他
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
傍聴者の数	1人
所管部署 (事務局)	福祉部 福祉総務課

委員長代理	次第1 委員長の互選について 岡田委員長に決定
委員長	次第2 第四次寝屋川市地域福祉計画の策定について
事務局	(説明)
委員	(意見なし)
委員長	次第3 地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査等の結果について
事務局	(説明)
委員	アンケート調査結果は、新型コロナウイルス感染症拡大以前のものである。現状とは、違うことも考慮すべき。
委員	子育て中の親の中には、自分の困っていることがわからない人、相談する場所がわからない人等がいる。 気軽に相談できる場所が必要と考える。
委員	障害者団体ではいつも災害時の対応が問題になる。例えば、感染症や医療的ケアの必要な場合など。また、在宅避難せざるを得ない障害者への対応などの検討が必要。
委員	老人クラブの会員数が減少している。就労の問題もあるが、元気な高齢者が集える場所が必要と考える。
委員長	次第4 第三次寝屋川市地域福祉計画の柱ごとの現状・課題のまとめについて
	次第5 第四次寝屋川市地域福祉計画 施策体系案について
事務局	(説明)

委員	CSW を日常生活圏域に 1 人、計 12 人の配置を希望する。 次に、障害者の親なき後が課題である。入所施設数の問題。
委員	8050 問題。高齢者、障害者の親子の場合、双方からの虐待も考えられる。
委員	地域包括ケアシステムに関して、議論をお願いしたい。 人材発掘、育成を構築していくことが必用。
委員	民生委員・児童委員のなり手不足問題。活動しやすい環境づくりが大切。
委員	社会資源（専門職の活用）により、施策 1 と施策 2 のつながりが大切。
委員長	委員の皆様から、地域福祉計画で共有する部分や他の計画で検討していくべきものなど多数の意見をいただいた。 今後、仕組みを整理して考えていく。
事務局	第四次寝屋川市地域福祉計画に成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画及び、地方再犯防止推進計画を盛り込みたいと考えている。
委員	再犯防止推進計画や現在の市の状況等の説明がないと検討できない。
事務局	次回の委員会で説明させていただく。 閉会